

MY
ACTION
VOL.07

演出家

宮本亜門

MIYAMOTO AMON

PROFILE

1958年東京都出身。87年にオリジナルミュージカル「アイ・ガット・マーマン」で演出家デビュー。現在、最も注目される演出家として、ミュージカル、ストレートプレイ、オペラなど活動の場を広げている。旅番組などを通じて世界各国へ赴き、2008年6月にはドキュメンタリー番組「世界ウルルン滞在記」でケニアを訪れた。今年5月、横浜開港150周年記念式典でプロデューサーを務める。

テレビ番組でケニア北西部のトゥルカナ村に行きました。首都ナイロビから飛行機で2時間、そこからさらに車で4時間という、とにかく遠く離れた村で、電気も通っていませんでした。しかも、村を訪れた初めての外国人が僕らだったこともあり、同い年の村長からは「助けに来てくれたんじゃないのか？」と真剣な顔で言われてしまいました。

村に暮らすニケボトク族は、もともと狩猟民族でしたが、今は農業を営み、家畜を飼育しながら生計を立てています。でも、2年ほど前から干ばつに見舞われ、農業にも被害が及んでいます。また、夫に先立たれた女性や働き手がない家庭は、畑を耕せず、食料不足に直面していました。

もちろん、「僕らは救助隊じゃない」と説明しました。でも、すぐに分



© 世界ウルルン滞在記

自分が幸せになれるから

かってくれるはずはありません。わらで作った家には、栄養失調や病気で苦しむ子どもや老人が横たわっているのですから。村長も、「村人が死んでいくのは見てられない」と必死だったようです。

そこで、畑をみんなで耕して、収穫できたものはみんなで分け合おうと提案したところ、多くの村人が賛同してくれました。でも中には、唯一の財産である農地を取られるんじゃないかと警戒していた女性もいました。「これが現実なのかな」と正直思いましたが、その女性ともじっくり話し合っただけで分かったんです。突然、外部の人が来て「こうしよう、ああしよう」と言ってもダメ。彼らの生き方や価値観を同時に考えていく必要があるんだと。

この旅をきっかけに、地球には支援の手の届かない地域がまだまだ

たくさんあるという現実を知りました。むしろ届かないところが多いのだと。そして、トゥルカナ村や人々と出会ってしまった以上、彼らを放っておけないと思ったんです。数日間であれ、彼らと共に生きてきたことは事実なのだから。

そこで、耕作や水路づくりに必要な道具を彼らに提供しようと考えたのです。でも、すごく奥地なので、途中にある同じような状況の村を通過してトゥルカナ村まで道具を届けられそうな人を見つけるのは容易ではありません。それでも、出会ったこの村にこだわり続けたい。

募金を呼び掛けると、日本人はシリアスに考えがちですが、単純にお金を循環させるだけのこと。すてきなことだと思っています。いつか流れが見えて、皆さんに寄付金を募る日が来たらと願っています。